

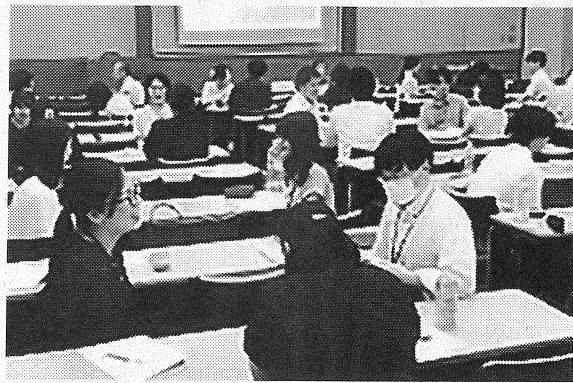
2025年(令和7年)7月23日(水曜日)

第3015号

(2)

質の高い学生支援の在り方模索

NPO法人
学文化創造
大学を支える若手職員研修会



NPO法人
学文化創造
大学を支える若手職員研修会

初日には、吉岡知哉日
本学生支援機構理事長
(元立教大学総長)が「高
等教育の課題―拡大する
大学職員の役割―」と題
し、変貌する社会と大
学、大学と「ガバナ
ンス」、大学の「役割」、そ
して大学職員の「役割」
について深く掘り下げて
講義した。

2日目は、刈間澤勇
人会津大学教授・学生部
長が「学生支援について
―グループアプローチ活
用のすすめ―」と題し、
今日の学生の特徴、学生
支援のポイント、グルー

介が事前に行われたこと
で、その後のグループワ
ークがスムーズに進行し
たとの好意的な意見が多
かった。

次回、8月に学生支
援に関する基礎研修講
座、スチューデントコン
サルタント認定試験(対
面実施)。10月に、学生
支援に関する研修会(対
面・オンライン実施)。

12月に大学等の運営を担
う職員研修会(オンライ
ン実施)が行われる。

詳細については、学生
文化創造(電話番号:0
3-689
0-173
0)まで。



面・オンライン併用)で
開催し、合計57人の大学
職員が受講した。

同研修会は、激変する
高等教育を取り巻く社会
状況と、それに伴う大学
職員の役割拡大、そして
質の高い学生支援のあり
方を模索することを目的
としたものである。

研修会では、多岐にわ
たるテーマで有識者によ
る講義や参加型セッション
が行われ、参加者は
日々の業務に直結する多

くの示唆を得た。

同講義では、激動の時
代の大学を考える視点、
大学組織の根本問題、戦
略と戦略的思考、リーダ
ーシップとマインドセッ
ト、ダイバーシティ、業
務構造改革とDX、個と
組織がともに成長する好
循環の創出といった多岐
にわたる視点から、大学
運営の未来が展望され
た。講義後には、参加者
同士の活発なグループデ
イスカッションも実施さ
れた。

今年度からは、各日の
最初の講義前にグルー
プ別懇談会が導入されたこ
とも特筆される。この懇
談会で名刺交換や自己紹

介が事前に行われたこと
で、その後のグループワ
ークがスムーズに進行し
たとの好意的な意見が多
かった。

このほか、スチューデ
ントコンサルタント認定
者による体験報告を和洋
女子大学の宮田佳南子氏
が行った。

なお、同研修会は厚生
労働省人材開発支援助成
金「人材育成支援コー
ス」対応型の研修として
実施された。